

「学生活動助成金」による活動の報告

未来デザイン学部メディアデザイン学科
生水絵理

この度私は「学生活動助成金」で、私が部活で経験した技術を生かし、地元の小樽の発展に貢献するため、新たな小樽の魅力を発見するとともに映画および芸術文化の発展の契機となることを目的とした「小樽ショートフィルムセッション2011」に向けて10分の映像作品を制作しました。以下に活動報告を述べます。

タイトル

「hideaway ～小樽のかつない臨海公園を訪ねたくなる～」





◆制作期間 10月下旬～12月上旬までの約1ヵ月

◆作品時間 10分00秒

◆作品概要

普通の男の子タロウはある日彼女に愛想をつかされてしまう。途方に暮れて小樽の街を歩いていると目の前には見たことのない場所が。その住人・ミヤコと出逢ったタロウは、次から次へと出逢うおかしい住人たちに振り回されていくがー。

◆見どころ

公園に住む住人たちの個性あふれる性格・服装と、タロウが住人たちと触れ合うことで起こる心境の変化、そして公園と住人たちのゆったりとした雰囲気を楽しんでもらいたいです。

◆制作スタッフ

北海道工業大学放送芸術部 部員

芝原久美子、屋代悠貴、宮崎公永、中村晋也、福本匠吾、春日佑弥、田中翔梧、谷口孝樹

私は2年前に行った「小樽ショートフィルムセッション2009」も作品を応募し、その時は審査員奨励賞を受賞しました。

(<http://www.otaru-fc.jp/modules/tinyd1/index.php?id=12>)

その経験と放送芸術部で学んだ技術を生かし、さらなる小樽の発展への貢献と最優秀賞を獲得すべく、誰もが見たくなるようなストーリーの脚本を構成し、大人数のスタッフと札幌から小樽まで移動し撮影を行いました。

以下、映像内画像



ミヤコとタロウ遭遇



スハール



シロとクロとタロウ



イルカとミナト



公園の立派なおバジエ



妖精



ミヤコ



タロウ



臨海公園中央部



臨海公園の木々



ミヤコとタロウ



皆で整列



住人たち



タロウ



かつない臨海公園入口

◆最後に

私は今までに部活でいくつかの作品を制作してきました。今回、活動助成金による援助のおかげでいつも以上に衣装・小道具の設定を細かくしたり、普段は行けない遠い所まで大人数で移動して撮影を行うことで、今まで以上にクオリティの高い作品を制作することができました。そのため、いつも以上に様々な場面において気合いも入りましたし、この映像を制作することによって小樽の魅力を少しでも多くの人に伝えることができるのではないかと思います。

また、技術面においてもよりよい経験を積むことができました。

今後ともこの経験を忘れずに、小樽の発展のために私ができることは積極的に取り組んでいきたいと思っています。本当にどうもありがとうございました。